

評価手続中事業（平成18年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【市街地再開発事業】

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
羽衣駅東 市街地再開発組合	再々評価	53	123	<p>【内訳】 域内便益：26億円 域外便益：97億円 【主な根拠】 周辺10kmの地価上昇 区域内施設（延床面積約 16,000㎡）の収益向上</p>	49	2.5	<p>・建物の不燃化、強度向上により防災性が向上する。 ・南海本線の高架化に伴う高架下利用と連携して事業を行うことで、「市の玄関口・生活中心拠点」として駅周辺地区の活性化が図られる。</p>	継続	都市・地域整備局 市街地整備課 (課長 松田秀夫)

【港湾整備事業】
(直轄事業)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
苅田港 新松山地区 多目的国際ターミナル整備事業 九州地方整備局	再々評価	-	-	-	-	-	-	評価 手続中	本省港湾局 計画課 (課長 難波喬司)

【港湾整備事業】
 (補助事業等)

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				
			便益の内訳及び主な根拠						
高知港 三里地区 港湾緑地整備事業 高知県	10年 継続中	6.0	7.1	【内訳】 環境の改善改善：4.9億円 その他便益：2.1億円 【主な根拠】 周辺地域世帯数：6千世帯	6.3	1.1	・事業により新に創出される埋立地の有効利用により地域の振興が図られる。 ・緑地の整備により、樹木等によるCO2の吸収により、地球温暖化が軽減される。	継続	本省港湾局 計画課 (課長 難波喬司)
下関港 あるか ぼーと(東港)地区 港湾緑地整備事業 下関市	再々評価	17	91	【内訳】 交流機会の増加便益：89億円 その他便益：1.8億円 【主な根拠】 港湾来訪者見込：61万人/年	25	3.7	・交流機会の増加に伴い、来訪者の増加に繋がり、地域経済振興が図られる。 ・緑地の整備により、樹木がCO2を吸収し地球温暖化の低減が図られる。	継続	本省港湾局 計画課 (課長 難波喬司)
日出港 尖地区 港湾緑地整備事業 大分県	再々評価	—	—	—	—	—	—	評価 手続中	本省港湾局 計画課 (課長 難波喬司)

【下水道事業】

※斜字体については、簡易比較法を採用しているため、B、Cそれぞれを年当たりの数値(億円/年)で記入している。

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				
			便益の内訳及び主な根拠						
八峰町公共下水道 事業(沢目処理 区) 秋田県八峰町	10年継続 中	46	2.3	【内訳】 生活環境の改善:1.3億円/年 便所の水洗化効果:1.0億円/年 【主な根拠】 便益算定人口:0.25万人	2.2	1.0	・地元情勢、社会経済情勢及び自然環境条件等に大きな変化がなく、計画通りであることから、順調に進捗している。 ・河川水質が改善したことにより、放流海域についても良好な水質が確保され、また世界遺産白神山地の玄関口としてのイメージアップにつながっている。	継続	東北地方整備局 建設部都市・住宅 整備課 (課長 堂園 洋 昭)
稲城市公共下水道 事業(南多摩処理 区) 東京都稲城市	その他	1,134	1,159	【内訳】 生活環境の改善:1,159億円 【主な根拠】 便益算定人口:14万人	1,073	1.1	・地元情勢、社会経済情勢及び自然環境条件等に大きな変化がなく、概ね計画通りであることから、順調に進捗している。 ・河川水質が改善したことにより、マシジミ等の発生が確認されている。	継続	関東地方整備局 建設部都市整備課 (課長 赤星 健太 郎)
諏訪湖流域下水道 事業(豊田処理 区) 長野県	その他	1,222	3,121	【内訳】 生活環境の改善:2,002億円 公共用水域の水質保全:1,119億円 【主な根拠】 便益算定人口:18万人	1,949	1.6	・自然環境条件等に大きな変化はないが、見直した計画により適正に事業を実施している。 ・民・学・官が一体となり、「よみがえれ諏訪湖ふれあいまつり」を毎年開催し、諏訪湖浄化と環境学習に取り組んでいる。	継続	本省都市・地域整 備局 下水道部下水道事 業課 (課長 松井 正樹)
桂川右岸流域下水 道事業(桂川右岸 排水区) 京都府	その他	-	-	-	-	-	-	評価手続き中	本省都市・地域整 備局 下水道部下水道事 業課 (課長 松井 正樹)
朝来市特定環境保 全公共下水道事業 (朝来処理区) 兵庫県朝来市	10年継続 中	49	61	【内訳】 生活環境の改善:61億円 【主な根拠】 便益算定人口:0.39万人	55	1.1	・地元情勢及び自然環境条件等に大きな変化がなく、見直した計画により適正に事業を実施している。	継続	近畿地方整備局 建設部都市整備課 (課長 田雑 隆昌)

評価手続中事業（平成17年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【河川事業】 （補助事業）

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
東条川広域基幹河川改修事業 兵庫県	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	近畿地方整備局河川部 地域河川課 (課長 岡山公雄)	

【市街地再開発事業】

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
生駒駅前北口第二市街地再開発組合	10年継続中	129	186	【内訳】 域内便益：79億円 域外便益：107億円 【主な根拠】 周辺10kmの地価上昇 区域内施設（延床面積約 34,000㎡）の収益向上	108	1.7	・建物の不燃化、強度向上により防災性が向上する。 ・都市の商業拠点、業務拠点、又は情報・交流拠点を形成する。	都市・地域整備局 市街地整備課 (課長 松田秀夫)	

評価手続中事業（平成16年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【道路・街路事業】
（補助事業等）

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
都市モノレール多 摩南北線 東京都	再々評価	-	-	-	-	-	-	評価手続中	本省 都市・地域整備局 街路課 (課長 松谷春 敏)

評価手続中事業（平成15年度評価）の再評価結果一覧

【公共事業関係費】

【ダム事業】 （補助事業）

事業名 事業主体	該当基準	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等 による評価	対応方針	担当課 (担当課長名)	
			貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C (億円)				B/C
			便益の内訳及び主な根拠						
下諏訪ダム建設事業 長野県	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	本省河川局 治水課 (課長 青山俊行)	
清川ダム建設事業 長野県	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	本省河川局 治水課 (課長 青山俊行)	
黒沢生活貯水池整備事業 長野県	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	本省河川局 治水課 (課長 青山俊行)	
駒沢生活貯水池整備事業 長野県	再々評価	-	-	-	-	-	評価手続中	本省河川局 治水課 (課長 青山俊行)	